

令和 3 年度
国・県に対する要望事項



令和 2 年 6 月

 能代市

当市の行政運営に対しまして、日ごろより格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、昨年度の要望につきましては、能代港を活用した地域振興等にご尽力いただき誠にありがとうございます。

さて、当市では、第2次能代市総合計画におけるまちづくりの基本理念に「幸福共創」を掲げ、優れた地域資源を十分に活用し、“こころ”、“からだ”、“もの”の3つの豊かさを実感できるよう、官民一体となった各種取組を進めているところであります。とりわけ、人口減少・少子化・高齢化が加速度的に進行する現代にあっては、若者の定住につながる産業の振興と雇用の確保が、当市の最重要課題と捉えており、重点的かつ横断的に取り組んでいく必要があります。

この要望事項は、能代港や高速道路等の社会基盤を活かしながら、当市が目指す次世代エネルギーのまちづくり等と組み合わせ、新たな産業と雇用の創出につなげる上で必要なものと考えております。また、市民の暮らしやすい安全・安心な環境を整えるうえでも大変重要な事項であり、これらの実現により能代が能く代わるものと確信しております。

何卒、当市の事情をご賢察いただき、令和3年度の予算編成及び今後の施策展開に取り入れてくださるようよろしくお願い申し上げます。

令和2年 6月

能代市長 齊 藤 滋 宣

要 望 事 項 一 覧

1. 能代港を活用した地域振興について …… [継 続]
2. エネルギーを核としたまちづくりへの支援について …… [継 続]
3. 「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について …… [継 続]
4. 日本海沿岸東北自動車道の早期完成について …… [継 続]
5. 県管理道路の整備促進について …… [継 続]

〔 継 続 〕

建設部 港湾空港課

産業労働部 産業集積課、資源エネルギー産業課

能代港を活用した地域振興について

近年、能代港を取り巻く状況は大きく変化してきており、能代港が持つポテンシャルを最大限に発揮できる環境が整ってきています。

日本海沿岸東北自動車道の開通の見通しが示され、県北地域だけでなく、青森県、岩手県等からの物流の拡大が見込まれ、それに伴う経済活性化の可能性が高まっています。さらに能代火力発電所3号機の運転開始により、石炭運搬大型船の入港が頻繁になると見込まれており、これらに対応し、船舶の安全航行、安全な荷役、安定した物流を確保するため、能代港の港内静穏度及び水域施設の水深の確保の必要性が増してきています。

一方、能代港は県北地域の魅力的な観光資源へのアクセスが便利であることから、クルーズ船の需要増加が期待できますが、岸壁の延長不足により、大型船が接岸できない状況にあります。こうした中、クルーズ船誘致は交流人口拡大による地域の活性化に不可欠であるとの共通認識のもと、観光メニューづくりや誘致活動に地域が連携して取り組んでいるところです。

また、再エネ海域利用法における促進区域の指定に向け、本年3月、「能代市三種町および男鹿市沖」の協議会の意見がとりまとめられました。能代港は北陸から北海道にわたる日本海沿岸の洋上風力発電建設有望地の中心に位置しています。能代港に洋上風力発電建設のための港湾インフラやメンテナンス基地機能を集中的に整備することにより、国が目指す再生可能エネルギーの主力電源化に大きく貢献し、日本全体の電力の安定供給にも資するものと考えます。

こうした中、本年3月に、本地域の悲願である能代港における洋上風力発電の設置及び維持管理の拠点形成を柱とした港湾計画の改訂が実現されました。加えて、県においてはふ頭用地の造成工事に着手する予算を、国においては岸壁整備や地耐力強化等に向けた予算を確保いただきました。関係の皆様の多大なる御尽力に対し、深く感謝申し上げます。

今後も本地域が一丸となって、能代港を中心とした県北地域の発展に取り組んでまいりますので、国・県におかれましても、下記事項について、引き続きご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

1. 港湾機能の強化と利便性向上

- ・防波堤整備による港内静穏度の向上
- ・岸壁の耐震化と強度の向上

2. クルーズ船誘致のための環境整備

- ・大型クルーズ船対応岸壁の整備
- ・インバウンド対応の受入体制の整備・強化への支援

3. 洋上風力発電の拠点化実現への支援

- ・能代港が洋上風力発電の建設及びメンテナンス拠点となるための港湾施設の早期完成
- ・地元企業の洋上風力発電関連分野への参画及び関連産業の集積に向けた支援



【市担当部課 環境産業部 商工港湾課】

エネルギーを核としたまちづくりへの支援について

本市は、「エネルギーのまち」を目指し、風力発電を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでおります。現在、大規模な風力発電や太陽光発電設備のほか、研修施設を併設した風力発電のメンテナンス拠点が設置されるなど、関連産業の集積も進んでいます。

本年2月には、秋田洋上風力発電株式会社が、能代港の港湾区域内における洋上風力発電所の事業化を決定したほか、一般海域では、3月に「能代市三種町および男鹿市沖」で「再エネ海域利用法」に基づく協議会での意見がとりまとめられ、今後、事業化に向けて進められることになっており、本市周辺の洋上風力発電の導入に向けた動きは着実に加速しております。

加えて、陸上風力発電では地域の農林業の振興との共生を図るため、3月に「農山漁村再エネ法」に基づく「能代市農山村地域再生可能エネルギー共生協議会」を立ち上げ、今後、協議を進めることとしております。

また、国が中心となり、水素社会実現に向けた取り組みが加速しており、本市に所在するJAXA能代ロケット実験場では、液体水素に関する最先端の実験が行われています。

こうした状況を踏まえ、平成31年3月に、次世代エネルギーの導入・普及により、地域の活力を創出するための方向性を示した能代市次世代エネルギービジョンを策定しました。本ビジョンで掲げた先進的なプロジェクトを実現し、本市ひいては秋田県全体の発展につなげていくため、下記の事項について特段のご配慮とご支援をいただきますよう要望します。

1. 次世代エネルギーの先進的なまちを目指すために

- ・本市周辺で計画される洋上風力発電事業の促進への支援
- ・風力発電の余剰電力を活用した水素製造等の実証事業の誘致への支援

2. 地域をリードする産業の創出・活性化につなげるために

- ・洋上風力発電関連企業へのアプローチや能代港周辺地域における事業用地の整備等の関連産業の集積に向けた支援
- ・再生可能エネルギーを農業等に活用した地域振興の取組への支援
- ・地域の風力発電等の電力を活用した、エネルギーコストの低減やCO₂低減に配慮した企業誘致につながる環境整備への支援
- ・地元企業の次世代エネルギー関連分野への参画への支援



【市担当部課 環境産業部 商工港湾課】

〔 継 続 〕

農林水産部 森林整備課

「風の松原」等松林保全のための松くい虫対策について

本市を代表する地域資源である国内最大規模の海岸砂防林「風の松原」は、強風による飛砂から街や農地を守るために、藩政時代から300年にわたり先人のたゆまぬ努力によって植栽されてきた文化遺産であるとともに、「かおり風景100選（環境省）」等の権威ある6つの100選に選ばれるなど、やすらぎの空間としても広く市民や観光客に親しまれています。

国有林、民有林を含む「風の松原」の松くい虫対策については、国・県・市が連携しながら伐倒駆除、薬剤散布、樹幹注入等の対策を講じてまいりましたが、中核部分の被害拡大に伴い、平成17年度から「松くい虫被害先端地域特別対策事業」により国費100%で徹底した対策に取り組んでいただいております。

本市全体の松くい虫被害量は平成28年度をピークに徐々に減少してきておりますが、30年度実績では、能代山本の被害が県全体の50%以上を占めており、いまだ予断を許さない状況にあることから、市民の誇りであり宝である「風の松原」の保全を図るため、下記の事項について要望します。

1. 松くい虫被害先端地域特別対策事業の継続
2. 松くい虫被害防除の抜本的な対策としての抵抗性クロマツの生産の推進



（風の松原を守る市民ボランティア大会へ市民約600人が参加した清掃活動の様子）

【市担当部課 環境産業部 林業木材振興課】

日本海沿岸東北自動車道の早期完成について

日本海沿岸東北自動車道二ツ井白神 I C から大館能代空港 I C 間の整備については、早期に高速交通ネットワークが形成されるよう、平成 24 年度より事業着手された「二ツ井今泉道路」の整備促進を図り、早期の全線開通に向けて引き続き要望します。

また、今後整備が予定される能代港の利活用促進と県北地域の経済の更なる発展に向け、27 年度より視距改良として着手された二ツ井白神 I C（能代地区線形改良）と今年度より事業化になった二ツ井白神 I C ～小繋 I C（仮称）間の交差点部（種梅入口交差点）の立体化について進捗を図り、道路の速達性や定時性、安全性の確保を可能とする整備を要望します。



〔 継 続 〕

建設部 道路課

県管理道路の整備促進について

国道101号は、能代市と八峰町、青森県を結ぶ幹線道路であり、通勤、地域間交流、物流、救命救急等を担う唯一の国道であります。竹生天神前の急カーブが円滑な通行に支障をきたしている状況となっております。地域住民の安全を確保するため、平成28年度より着手された「竹生バイパス」の整備促進を図り、早期に完成されるよう要望します。

県道西目屋二ツ井線は、能代市と藤里町を繋ぐ重要な生活道路であり、特に救急搬送路として主要な路線となっております。また、地域防災の機能強化、世界自然遺産白神山地へのアクセス向上など、地域経済の活性化を図るため「荷上場バイパス」の整備促進を図り、早期に完成されるよう要望します。

- ・ 国道101号 竹生バイパスの整備促進について
- ・ 県道西目屋二ツ井線 荷上場バイパスの早期完成について

【市担当部課 都市整備部 道路河川課】



